

Event Cue / Software - イベントでキューアップ・ソフトウェア

自動的に時刻を保存

入力方法はキーボード入力を採用し、枠内に通常と同じように記入すると同時にその時刻が記録されるため、特に意識する必要はありません。事前に表題や情報をMEMO欄に入力できます。

キューアップとマーク機能

表示画面では各項目枠をクリックすることで、記録されたタイムスタンプの時刻にビデオサーバーやノンリニア編集機をキューアップ(オプション)することができます。

また、最後に選択した時刻をクリップボードにコピーしますので、複雑なインターフェースなしにノンリニア編集機のタイムコードサーチに使用可能です。

記入する際にニュースコンテンツとして使用する可能性の高いシーンには“マーク”を打つことが可能です。

記録された“マーク”は表示画面でハイライトされ、かつ“マーク”されたシーンのみ矢印キーで移動できるため、ハイライトシーンを使った編集が容易かつ素早く可能となります。

機能・特長

- ・キーボードでテキスト入力
- ・書き込み時刻をタイムスタンプ記録
- ・表題や情報入力の可能なMEMO機能
- ・時刻と事象をCSVでエクスポート/インポート
- ・ハイライトシーンをマーク
- ・タイムスタンプでキューアップ(オプション)
- ・オフセット機能でキューアップ位置を補正
- ・マークしたシーンのみをサーチ可能
- ・遠隔でシステム構築可能
- ・素材のタイムコードに同期して動作(オプション)

オフセット機能

メモを記入開始するタイミングはシーンが起こった直後となります。

編集に必要なキューアップ位置はそのシーンの開始した位置になるため、必ず補正が必要です。そこで表示画面にはオフセットボタン(-0.5秒/-1秒/-1.5秒・・・)を装備し、キューアップと併用することで、煩わしい操作を省くことが可能です。さらに、予めオフセットを設定しておくことで、オフセットボタン操作も省くことが可能です。

遠隔でシステム構築

入力画面と表示・操作画面とはネットワークを介して遠隔で接続可能です。

現場の記者が入力した情報が、随時更新されて編集室の閲覧画面に表示されるため、取材が終わるのを待たずに編集が開始でき、即時性が求められるニュース編集に威力を発揮します。

CSVでエクスポート/インポート

時刻と事象及びMEMOはCSVデータでエクスポート/インポートができます。コンテンツの再利用やライブラリのメタデータとして大きく貢献が可能です。

システム要件

Event Cue

- ・Windows7/8.1 (32bit/64bit), 4GB以上のメモリ

製品発注情報

Event Cue

イベントでキューアップ・ソフトウェア

★ 関連商品 ★

★ Scorebook Cue/スコアブックでキューアップ・ソフトウェア

スコアブックに事象を記述した時刻を保存して、容易に素材をキューアップできるソフトウェアです。

- ・タッチパネルに手書き入力を採用
- ・事象を記述した時刻を自動保存、その時刻でキューアップ
- ・ハイライトシーンにはマークし、マークのみサーチ可能
- ・特別な事象はメモ書き可能、吹き出しで表示
- ・オフセット機能でキューアップ時刻を補正
- ・ネットワーク経由で遠隔システム構築可能



RBCP000702_201605

<http://www.terapoc.co.jp/>

TERAPOC株式会社

243-0018 神奈川県厚木市中町4-6-10エポックM1ビル302

terashima@terapoc.co.jp

※仕様は予告なく変更される場合があります。

※Event Cueの仕様・機能は特許出願中です。